



第1回 仁淀川・四国カルストジオパーク 日高村説明会開催される

平成21年1月21日に県中西部の梶原町、津野町、仁淀川町、越知町、佐川町、日高村の6町村で構成される「仁淀川・四国カルストジオパーク推進協議会」が設立され、各市町村で説明会を実施することになりました。

5月17日に第1回ジオパーク説明会が日高村旧松岡酒造の酒蔵で開催されました。当日は雨天にもかかわらず、村内外から約150名の参加がありました。

ジオパークとは？

地質遺産を複数含む一種の自然公園のことです。

活動の目的

地質遺産を保全し、研究や化学の教育と普及に活用して、さらにそれを自然に親しむ旅（ジオツーリズム）に結びつけようという地域振興です。



旧松岡酒造酒蔵保存委員会の森本さんより

- 日高村に存在する素晴らしい地層と、そこから湧き出る水によりここで酒造りが行われていたこと。
- 日高村内の地形や地質からはシルル紀（4億年前）の化石やクサリサンゴが発見されていること。
- 地層は蛇紋岩をはじめとする火成岩や変成岩類が入り組んで存在していること。

これらはドウダンツツジ、トサミズキ、バイカオウレン等が自生し、錦山公園、大滝山公園、渋川トンボ公園、日下川・戸梶川調整池等が存在することと密接な関係から成り立っていることが説明されました。

また、高知工科大学特任の永野教授からは、「村民一人ひとりが地域の

高村を大きなひとつの恵まれた自然公園ととらえ、地域への思いや誇りを大切にすることで資源の保護や活用を図り地域の活性化につなげましょう。」

という講演がありました。

会場は地場産品の出店、日高環頭太鼓の応援演奏、高知ふる

さとシンガーソングライターとして活躍されている「豆電球」さんの出演等で賑わいを増しました。

このように多くの方のご協力のもと、6町村と連携し地域の活性化を目指し、世界ジオパークネットワークの認証に向けて一歩を踏み出しました。

